

びとう和広後援会ニュース

2008.01.01

第 17 号

発行責任者
長谷川満敏



新年明けまして、おめでとうございます。

旧年中は大変お世話になり、ありがとうございます。後援会の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より皆様方からの力強いご支援・ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年は選挙の多い年でしたが、皆様の力強い御支援により、参議院で民主党が第一党となり、県議会でも民主党が躍進、実りの多い年となりました。

衆参ねじれ国会で、消えた年金問題、薬害肝炎訴訟等十分追求ができ、社会保険庁と厚生労働省さらには与党のいい加減さが露呈され、薬害訴訟では一律救済の議員立法の運びとなりました。テロ特措法は防衛省の無管理状況も明らかになり、解散含みでの強行採決の可能性など難しい国会運営となりました。

そのような中、民主党は震災被害者救済法や障害者自立支援法の見直しなど、温かみのある政策展開、さらに年金流用禁止や天下り対策など、皆様の負担金や税金の使い道を正しています。いずれも、皆様のお一人お一人のお力によるものと、改めて一票の重さを実感すると共に皆様に御礼申し上げます。

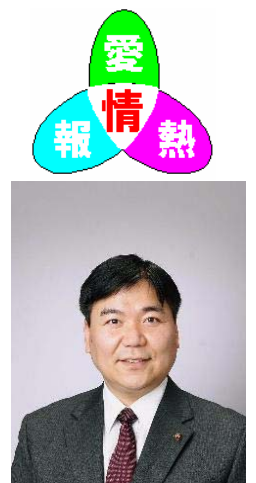
三田市では、行財政改革プラン発表後岡田前市長の不出馬表明、富士小への特別支援学級移設、総合文化センター：郷の音ホールの開館、竹内新市長の誕生、市民病院経営健全化推進本部発足など、変化の歳でしたが、12月議会も終え、来年度予算構築に向け、新行財政改革を中心に政策審議に入ったところです。

三田市の今年度予算は骨格予算ということで、新規事業をほとんど凍結してのスタートでしたが、今回の12月議会では、1億6千8百万円の補正予算が組まれました。私も、皆様のご意見・ご要望をいただき、安全・雇用・福祉・子育て・環境など尽力してまいります。今年には三田市市制50周年にあたることもあり、各種行事も予定されています。現状を前向きに捉え、正すべきところを正し、活き活きとしたまちづくりを提案してまいります。

後援会行事では、11月10日に松が丘地区のミニ集会開催し、私の活動報告と地区での課題や対策を意見交換させていただきました。少子高齢化の影響が強い地区であり、交通や福祉の問題をご指摘いただきました。

これからも、皆様との対話を第一と考え、皆様の元に出向いて、身近な問題やいろいろなご意見・ご要望をお伺いし、市民サービスの一層の向上、安心安全・活気活力のある元気なまちづくりに向け、精一杯頑張ってお参ります。今後とも力強い御支援のほど、よろしくお願いたします。

三田市議会議員 **かずひろ**
びとう 和広



議会報告(決算特別委員会)

平成 17 年度決算特別委員会 (11/10~11/20)

総括審議 (政策や考え方) に重心が移り、項目ごとの検証が甘いため、今回は決算項目を、4つの常任委員会で一日ずつしっかり審議をし、その後1日で会派別総括審議 (持時間 = 15分 × 人数) を実施しました。

私は生活環境分科会の座長として、また、会派を代表して総括質問を行ないました。

生活環境分科会の概要は以下の通りです。

- ・市民センターの経費分析を実施。
- ・ごみ収集の民営化状況 - ニュータウンの効率化できるところは民間で、郡部は直営で運用している。
- ・民営化が1社の随意契約は問題 - 継続で価格交渉している。次回の更新時期を目処に比較見積を実施する。

私の総括質問の概要は以下の通りです。

1. 労働行政について

問：シルバー人材と若者の雇用をはじめ、労働実態の把握と雇用推進方針の明確化が必要と思うがどうか？

答：シルバー人材は人材センターが、若者の雇用はハローワークのデータを基にしている。労働実態の把握と雇用推進方針については現状で十分と考える。

2. 水道・下水道の費用処理と組織について

問：水道料金の支払い処理の問題点について (10円未満切捨てを1円未満に要望) 水道と下水道が別組織であり、非効率、組織を見直すべきと考えるがどうか？

答：10円未満切捨ては消費税導入の際、集金の手間を考え導入された。現在87%以上が自動引き落としとなっているので、来年度以降1円未満切捨てになるよう条例改正を図る。年間140万円赤字解消となる。また、組織は指摘の通りであり、来年度の組織改正に活かして行きたい。

3. 事業評価のあり方について

問：今回の決算にあたり、何を目的にしている事業か、また責任組織が不明確である。評価制度のため、指標・目標・実績の提示と、コストの明確化を図り、予算・決算の継続的事業評価が必要と考えるがどうか？

答：行財政改革の中で事業評価を実施しており、その内容を中心に事業把握を図る予定である。コスト意識は重要であり、指摘を活かして行きたい。

4. 業務コストのための業務統計について

問：時間管理のあり方として、各事業のコストを精査するために業務統計を取り、業務分析の実践とコストの明確化を図るべきと考えるがどうか？

答：現段階では職員の形態が多様であり、業務統計は考えていない。今後に向けて、分析が出来る方法を検討して行きたい。

5. 委託や工事請負のあり方

問：この厳しい財政下、事業はゼロベースでの見直しが必要である。事業の継続や継続単価・業者を見直し、できる限り随意契約を回避すべきと考えるがどうか？

答：ゼロベースは基本だが、地元企業や継続に関してはコスト面も含め急には切替ができない。状況を見ながら改善を図る。

議会報告(12月定例議会)

12月定例議会 (11/28~12/19 開催)

11/28: 定例議会 (1日目) 市長施政方針・議案説明・議会運営委員会2名認定

12/10, 11: 定例議会 (2, 3日目) 一般質問

12/19: 定例議会 (4日目) 委員長報告・採決

< 民主党会派の一般質問：質疑応答 >

1. 三田市行財政改革に伴う財政危機の原因について

問：財政危機の原因をどう考えているか？

答：平成16年以降人口減少や景気の低迷などによる市税収入の伸び悩み、三位一体による交付金の減少、成長期の支払ピークが重なったもので、人口13万4千人を目標として取り組んできたことに伴う税収や交付金の見込みにも甘さがあった。

問：今まで議員の提案・提言を当局はどう活かしたのか？いつまでこの難局を乗り越えれば見通しが立つのか？

答：今までの提案・提言は真摯に受け止め、十分議論を尽くしたと考えている。今後とも、説明責任を果たし、市民の目線に立った業務改善を進める。

2. 市の行財政改革と三田市と地開発公社について

問：公社設立の目的に沿った事業執行がされているか？

答：ニュータウン開発や人口急増時代における急速な都市化に伴う諸事業を円滑に推進するため、事業用地や代替地の先行取得により、本市発展に寄与してきた。

問：平成18年度末の保有地の簿価と評価額の差7.4億円の問題、及び取得目的・買戻し時期はどうか？

答：現在、16の所有地のうち、5箇所は高次線関連で処分済みだが、残りは取得後10年超で社会状況の変化などで事業化困難もある。利用方法を議論するが、方法が無ければ売却も視野に入れて対応する。

問：用地区分 (都市公園用地) 他3箇所の取得目的・用地区分はどうなっているのか？

答：国見の丘、横山天神線、健康増進ゾーンの3用地については公共事業用地として、農業公園用地は煙害対策として取得した。国見の丘、農業公園用地は県との調整により、境界調整も含め対応する。残りは公社保有となっている。

3. 三田市の基幹産業である農業を守る振興策について

問：三田市食の安全・安心条例制定の進捗はどうか？

答：安全のための認証制度の位置付けを含め検討する。

問：環境保全型農業の推進とエコファーマーを推進する中で認証三田ブランドを制定してはどうか？

答：関係機関と協議し、実現に向け取り組んでいく。



決算特別委員会の総括質問。写真は、私の質問に竹内市長が答弁されています。

活動報告・予定

11～1月の活動

委員会

11/14, 12/12, 12/18: 福祉文教常任委員会

- ・放課後児童クラブの時間延長: アンケートに基づく問題整理を実施。来年度予算への折込みを検討中。
- ・後期高齢者医療制度: 75歳以上の老人保健を健康保険と集約し、個人別負担に変更。

12/19, 12/25: 議員定数等検討委員会準備会

- ・1年ほど前から、私たち民主党会派は、財政状況や近隣市の動向を考えると、早々に検討委員会が必要だと訴えていました。今回、市民の署名活動が後押しの形で、委員会設置に向け準備会が発足しました。議員の存在意義や本来の役目を考え、現三田市に相応する議員の定数などを検討します。

11/_5, 11/28: 会派代表者会

- ・議会倫理条例と政務調査費取り扱いについて1円以上の領収書添付を条例化しました。交通費と通信費の取り扱いを3月までに整理します。

12/_6: スポーツ振興審議会

- ・市民運動会の来年终息について
- ・組織(体育振興・スポーツ21・体育協会など)のあり方について-私はスポーツ21の枠組みが体育協会のクラブチームに対応できていない点を指摘しましたが、現段階では地域(小学校区)ごとの対応を促進すること。

行事出席

- 11/_2: 三田フィルムコミッション 参加
 - 11/11: 有馬富士エコツーリズム 参加
 - 11/19: アンダス(男女共同参画)会議 参加
 - 11/23: 三田市コネスコ主催講演会(北康利氏)参加
 - 11/24: 三木市・三田市親善家庭バレー 打合せ会(協会長として)参加
 - 12/_5: 「音の日」イベント(三菱電機三田製作所内) 地元中学校との橋渡し・企画参画・参加
 - 12/15: 三田小西区子ども会行事 参加
 - 12/16: 三田国際マスターズマラソン 役員参加
 - _1/_7: 新春寿ぐ会 参加予定
 - _1/14: 成人式 出席予定
 - _1/26: 芝野県議県政報告会 出席予定
- 他に各種演奏会やバレーボール協会の大会にも出席。

民主党・連合関連行事

- 11/10: 連合兵庫政策フォーラム 参加
 - 11/17: 民主党県連大会・民主党5区ブロック会議
 - 12/_3: 民主党躍進パーティー 参加
 - 12/_4: 連合三田定期総会 出席
 - _1/_5, _6: 民主党三田市内街宣行動 参加
- 他に、連合関連や支援団体の旗納め・旗開き、忘年会・新年会などに臨席し、ご挨拶をさせていただいていません。その際にはぜひ声をお掛け下さい。

びとう和広の視点

来年度国一般会計予算概要が報道されていました。

歳入 (兆円)(昨年比)			歳出 (兆円)(昨年比)		
税収	53.5	+0.2%	一般財源	47.3	+0.7%
国債	25.3	-0.3%	地方交付	15.6	+4.6%
税外収入	4.2	+3.7%	借金返済	20.2	-4.0%

83.1兆円と大きい金額ですが、累積の国債は800兆円以上ですから、とんでもない話です。今回は衆議院選挙への思惑や地方の疲弊もあり、歳出削減がほんの少しゆるみ、地方への交付金も格差是正が図られています。しかし、国債発行が借金返済を上回っている訳で、国の借金体質は悪化の一途です。しかし最近の相次ぐ値上げに加え、消費税をはじめとする増税が行われるようであれば、勤労者は疲弊の一途です。

昨年1年を表す文字「偽」が象徴するように、偽装や癒着、公約無視の連続に、何を信じていけばよいのか、分からない時代となりました。

11月には兵庫県の財政悪化が伝えられ、県の行財政改革案として、県補助の削減案が突然出されました。中学生のトライやるウィークも県負担1/2を1/3に削減です。三田市の試算ではこれらの影響だけでも6600万円の市負担増となるということです。早速、県議会議員を含め、市より見直し要請をしたところですが、目が離せない状況です。

三田市でも、財政悪化を理由に平成20年から4年間で45億円の削減計画「三田市新行政改革プラン」が提案されました。市民運動会の廃止や各種補助金の削減、防犯灯設置/維持費の市負担率見直しのように自治会負担増もあります。さらに市職員給与削減も提案しています。その一方で、山林や田畑を先行取得して未使用の土地が多くあります。私たち民主党会派は、率先して資産の棚卸や情報公開、事業責任の明確化、継続ありきの契約見直しを要求しています。

< 議員定数削減について >

12月議会中に約6千人の市議会議員定数削減署名が、副議長に手渡されました。呼びかけ文は、議員が4~6人いなくても民意に影響が無い・地区割だと何人など、乱暴なものでしたが、署名は署名です。

私も経費削減を含め、定数見直しを訴えてきました。ただし、議会は市の立法機関であり、市政のチェック機関です。本来の機能が果たせる仕組みを維持できることが絶対条件です。各出身地域や組織の利益誘導でなく、三田市の未来を含めた最善の施策構築のための議会ではなくてはなりません。そのためにも事業ごとに、目的・指標・目標・予算・決算・実績・効果がしっかりと評価できる仕組みづくりが第一で、事業と部署の責任の明確化を図ることが必要です。

そのためにも、議員の質を高めなければなりません。私も、日々の勉強を続けるとともに、皆様の声を肌身で感じて市政に届けたい、と考えています。

ぜひ皆様のご意見・お考えをお聞かせ下さい。

後援会・市民活動報告

日ごろより後援会行事にご理解・ご協力を賜り、ありがとうございます。

皆様の声を直接お聞きできる機会として、行事を開催してまいります。びとう和広は、皆様から頂いた、一つひとつの案件に真剣に取り組み、その改正や実現に向けて全力で頑張ります。

多くのご意見やご要望をよろしく願いたします。

11/10(土)松ヶ丘地区ミニ集会 18:00~19:00

友が丘第1集会所にて、総勢15名の集会を行い、少子高齢化に向けた地域の問題を中心に話合いました。

特に、不燃物の廃棄にタクシーを呼んでいるお年寄の話は衝撃でした。坂が多い地域だけに、問題が深刻です。私は移送ボランティアの仕組みづくりを提案しています。そのためにも今のボランティア団体から会議室使用料や経費負担させるやり方には反対です。むしろ市がボランティアの方々の保険費用を持つなど、活動を支援し、市全体の共助策が必要です。

これからの活動計画のご案内です。

1/30(水)三菱電機三田製作所：構内市政報告会

17:30~18:00 三菱電機三田製作所食堂にて

これからも力強いご支援・ご協力のほど、何卒よろしく願いたします。



市民活動紹介

今回は私が会長を務める健康教室を紹介いたします。

土曜のびのび健康教室OB会

元々、「土曜のびのび健康教室」は市の事業でした。

40歳以上の勤労者向けの8回コースで、健康な老後生活を作るための事業でした。しかし、コースが終わると、フォローもなく、「なじみかけた体」もすぐ元通りです。市の事業はきっかけ作りだけでフォローがないのが課題です。そこで、私と同様に、もっと続けたい、と考えるメンバーと一緒にインストラクターの先生にお願いして、5年前にこの会を立ち上げました。継続が大切です。

現在、1回500円・月2回・土曜9時半~11時・福祉保健センターで活動中です。皆様も一緒に健康な汗をかきませんか？(お問合せは美藤:自宅 079-562-8653 まで)



ウォーキングの後、フィットネスの器具を使って、ダンベルやボールなど、筋力トレーニングを行います。



ロープやボールなど、いろいろな道具を使って、いろいろなゲームを行います。脳を刺激します。



びとう和広後援会より

新年あけまして、おめでとうございます。

後援会会員の皆様方には、日頃より力強いご支援・ご協力を賜り、誠に有難うございます。心より厚く御礼申し上げます。

『びとう和広』は、議会に送り出して頂いて3年が過ぎ、2期目に向けた挑戦の年となります。まだまだ未熟ではございますが、精一杯頑張っております。今回、議員定数見直しなど、厳しい情勢の下、三田市のための

議会改革活動を精力的に進めており、後援会活動とあわせて、力強く邁進しております。

『びとう和広』は、これからも、後援会の皆様にも少しでもお出合いができるよう、また、より多く皆様の声をお聞きし、問題解決に向け、全力で活動する所存でございます。何卒、皆様の倍旧のご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

びとう和広後援会 会長：長谷川 満敏

【びとう和広 後援会 連絡先】

<連絡先> 〒669-1513 三田市三輪2丁目3番33号

三菱電機労働組合三田支部 気付

Tel: 079-563-1860 Fax: 079-563-5093

<自宅> 〒669-1537 三田市西山2丁目11番13号

Tel: 079-562-8653, Fax: 079-562-0730

<電子メール> bit@venus.dti.ne.jp

<ホームページ> <http://www.bitou-kazuhiro.com>